

# SW-42L0 バイタルセンサ プロパティライタ説明書

---

Revision: 1.1

発行日: 2020年8月5日

※予告なく製品の仕様を変更する可能性があります。

# 目次

1	インストール/アンインストール .....	3
1.1	インストール .....	3
1.2	アンインストール .....	3
1.3	動作推奨環境 .....	3
1.4	USB ケーブル .....	3
2	操作の概略 .....	4
3	機能説明 .....	6
3.1	起動 .....	6
3.2	終了 .....	6
3.3	USB 接続 .....	6
3.4	再読み込み .....	6
3.5	書込み .....	6
3.6	設定画面からファイルに出力 .....	6
3.7	ファイルから設定画面に入力 .....	6
3.8	全項目一括の有効/無効 .....	6
3.9	ファンクション リセット .....	6
4	プロパティ内容 .....	7
5	改訂履歴 .....	9

## はじめに

本書は、SW-42L0 バイタルセンサにおいて、ユニット(製品)を PC に接続して各ユニットのプロパティ読出し・書込みを行うことが出来るソフトウェア「プロパティライタ」について説明したものです。

### ※使用上の注意

バイタルセンサへ microUSB を挿し込み、読出・書込みする際は、3 分以内に行ってください。  
バイタルセンサへ 3 分以上 microUSB を挿入したままですと、バイタルセンサの故障原因になりますので注意してください。

## 1 インストール/アンインストール

### 1.1 インストール

プロパティライタは「PropertyWriterForVital\_\*.\*\*.exe」(\*.\*\*はソフトウェアのバージョン番号。)という名称の実行形式のファイルで提供されますので、インストールは PC 上の任意のフォルダへファイルをコピーして下さい。

### 1.2 アンインストール

なお、アンインストールは「PropertyWriterForVital\_\*.\*\*.exe」を削除して下さい。

### 1.3 動作推奨環境

動作推奨環境は以下の通りです。

(1) OS: WindowsXP 日本語版 サービスパック 3 以降

Windows7 日本語版

Windows10 日本語版

※64bitOS 上では 32bit アプリケーションとして動作

(2) USB ポート: チップセット内蔵の USB ポートであること。

### 1.4 USB ケーブル

※USB ケーブル(USB A コネクタ~Micro B コネクタ)は同梱していませんので、お客様でご用意願います。

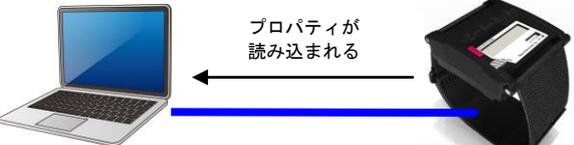
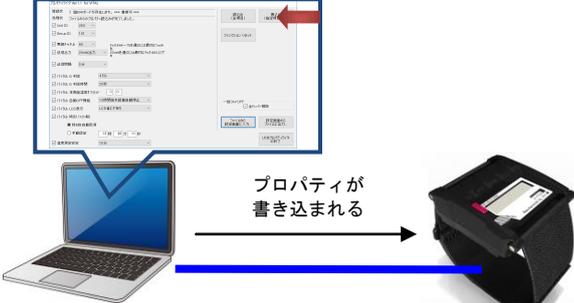
(注意)

・USB ケーブルは USB 規格に準拠したもの(コネクタモールド部分の寸法が横 11.7x縦 8.5mm 以下)をご使用下さい。それ以上の寸法では、コネクタに適合しない可能性があります。

・スマートフォン向けなどの充電専用ケーブルでは通信できない可能性があります。

## 2 操作の概略

本ソフトを使用したプロパティ書換えの流れは以下のようになります。

① PC上でプロパティライタを起動	
② バイタルセンサの電源をOFFにする。	
③ PCとバイタルセンサをUSBで接続。	
④ 変更したい項目の値を変更する。	 <p>注意！ 必ず時刻の変更にはチェックを入れてください。 書き込みを行うと、時刻がリセットされます。</p>
⑤ 書き込みボタンを押す。	 <p>注意！ 書き込み中にUSBケーブルを抜くと故障の原因になります。 書き込み中はUSBケーブルを抜かないでください。</p>
⑥ ファンクションリセットを押す。	 <p>注意！ このリセットを行わないと、変更値が反映しません。</p>
⑦ 完了したならば、USBケーブルを外す。	

### <重要>

バイタルセンサをリセット(ファンクションリセット)した時にプロパティ情報がリロードされます。プロパティ書換え後は必ず、ファンクションリセットを押してください。

プロパティ書き込み時に、時刻も更新されますが、チェックがされていないと、リセット(0:00“00)となります。必ず時刻の項目もチェックを入れてください。

## ■プロパティ異常表示

プロパティ書込み中に誤って USB ケーブルを外してしまった等の原因によって、プロパティ書込み動作が正常に行われなかった場合、下記の案内メッセージが表示されます。

このような案内表示が出た場合は、プロパティライター設定内容が異常になっていることが考えられますので、プロパティライターでの復旧は困難です。お手数ですが、営業担当者へ相談をお願い致します。



## 3 機能説明

### 3.1 起動

「PropertyWriterForVital\_\*.exe」をダブルクリックするとプロパティライタが起動します。

### 3.2 終了

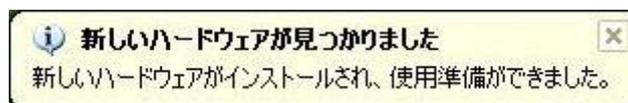
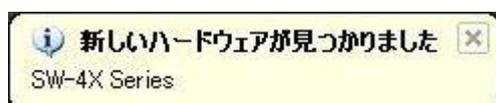
「USB プロパティライタの終了」ボタンを押すと、プロパティライタが終了します。

### 3.3 USB 接続

バイタルセンサと PC を USB ケーブルで接続すると、プロパティ(全項目)を読み込み、画面に表示します。

この時、**電源を OFF 状態で行ってください。**

PC には **1 台のみ**バイタルセンサを接続して下さい。2 台以上を接続した場合は、読み書きができません。初めてバイタルセンサを接続した場合に PC 上に下記のような表示が出る場合がありますが、特に何も操作をする必要はありません。



### 3.4 再読み込み

「読み込み(全項目)」ボタンを押すと、接続中のバイタルセンサからプロパティの再読み込みを行い、読み込み結果を画面に表示します。各プロパティのチェックボックスの状態に関わらず、全項目のプロパティを読み込みます。

### 3.5 書き込み

「書き込み(指定項目のみ)」ボタンを押すと、画面で設定したプロパティをバイタルセンサに書き込みます。書き込み対象となるプロパティは、書き込み有効チェックボックスがチェックされたプロパティ項目です。

### 3.6 設定画面からファイルに出力

設定画面に表示中のプロパティの値をファイルにして PC へ保存できます。

「設定画面からファイルに出力」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが開きますので、保存先フォルダとファイル名を指定して「保存」ボタンを押して下さい。

### 3.7 ファイルから設定画面に入力

PC に保存されているプロパティ設定ファイルを読み込んで、設定画面上に表示できます。

「ファイルから設定画面に入力」ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが開きますので、プロパティが保存されているファイルを指定して「開く」ボタンを押して下さい。

- ・ ファイルに保存されているバイタルセンサの種別と、PC に接続中のユニット種別が一致しない場合は読み込むことはできません。
- ・ ファイルから読み込んでも、直ちに書き込まれる訳ではありません。バイタルセンサに書き込む場合は、バイタルセンサに書き込むプロパティの「書き込み有効チェックボックス」をチェック状態にした上で、書き込みボタンを押す必要があります。

### 3.8 全項目一括の有効/無効

画面に表示中の設定項目の、書き込み実施/非実施を選択するチェックボックスを、一括で ON/OFF できます。チェック状態にすると一括で ON になり、チェック状態を外すと一括で OFF になります。

### 3.9 ファンクション リセット

バイタルセンサ内部に書き込まれたプロパティ内容をリロードし、リセットします。

書き込み処理後は必ず、このボタンを押して、リロードさせてください。

## 4 プロパティ内容

以下に全表示内容を説明します。

各プロパティは、左から順に書き込み有効チェックボックス、項目名、設置値を表示します。  
書き込み有効チェックボックスは、書き込みをする場合にチェックを入れます。



- ① **タイトルバー** : タイトルとソフトウェアのバージョンが表示されます
- ② **接続状態** : バイタルセンサの接続状態、接続个数、プロパティの書換え可/否が表示されます
- ③ **処理状態** : プロパティ書換え処理の状態が表示されます。
- ④ **無線設定項目** : 設定可能な無線設定のプロパティを表示します。

表 1 各ユニット共通のプロパティ

項目	範囲	説明
無線ユニット ID	ベース:0 ノード:1~254	同じグループ内のユニット(ベース、ルータ、ノード)は全て異なる ID に設定して下さい。 バイタルセンサは必ず 0 以外で使用して下さい。
グループ ID	101~254	同じグループ内のユニットは全て同じグループ ID に設定して下さい。
無線チャンネル	25~31Ch 34~60Ch 64~75Ch	同じグループ内のユニットは全て同じ無線チャンネルに設定して下さい。また、チャンネルによって設定できる送信出力が異なります。 ・25~31Ch: 1mW/20mW 兼用 ・34~60Ch: 1mW/20mW 兼用 ・64~75Ch: 1mW のみ使用可
送信出力	1mW/20mW	チャンネルが 60Ch 以下は 10mW と 20mW の両方設定できますが、チャンネルが 64Ch 以上の場合は 1mW のみとなります。

⑤ **バイタル設定項目** : 設定可能なバイタル設定のプロパティを表示します。

項目	範囲	説明
送信間隔	1/2/5/10 分	測定と送信の周期を設定します。 (工場出荷状態:5 分)
G 判定	4.5/6/7/8/10G	転倒衝撃の G(重力加速度)閾値 (工場出荷状態:4.5G)
G 判定時間	10/20/30/45/60 秒	衝撃を検知した後、転倒の判断として状態を観察する時間 (工場出荷状態:20 秒)
体表面温度 オフセット	0~10.0℃	測定した温度値にオフセットを付加して送信します。 (工場出荷状態:0.00℃)
自動 OFF 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 時間後未装着自動停止</li> <li>・自動起動/自動停止</li> </ul>	<p>○10 時間後未装着自動停止(工場出荷状態) バイタルセンサの電源 ON してから 10 時間経過した後、3 回連続で、脈拍センサによる装着未検出もしくは脈拍測定値がエラーであった場合、自動的にバイタルセンサの電源を OFF します。</p> <p>○自動起動/自動停止 バイタルセンサ電源を、午前 8 時に自動で ON し、午後 7 時に自動で電源を OFF する。但し、午前 8 時に自動 ON した後、脈拍が 3 回連続で取得できなかった場合は、装着していないと判断して、バイタルセンサ電源を自動 OFF する。</p>
LCD 表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD 省エネ有り</li> <li>・LCD 省エネ無し</li> </ul>	<p>○LCD 省エネ有り(工場出荷状態) スイッチ操作後、30 秒間のみ LCD を表示します。</p> <p>○LCD 省エネ無し 常に LCD を表示します。</p>
時刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻を自動取得</li> <li>・手動設定</li> </ul>	<p>○時刻を自動取得(工場出荷状態) PC の時刻を読み取り、この時刻を書き込みます。</p> <p>○手動設定 時、分、秒を任意で設定し、書き込みます。</p>
温度測定安定時間	無し、3/10/15 分	電源起動後の体表面温度の安定時間(未測定時間)を設定します。(工場出荷状態:15 分)

- ⑥ **読み込み(全項目)ボタン**: プロパティが再読み込みを開始します。
- ⑦ **書き込み(指定項目のみ)ボタン**: プロパティの書き込みを開始します。
- ⑧ **ファンクション リセットボタン**: バイタルセンサをリセットし、書き込んだプロパティデータをリロードします。**※書き込み後は必ず行ってください。**
- ⑨ **ファイルから設定画面に入力ボタン**: 読み込むファイルを指定します
- ⑩ **設定画面からファイルに出力ボタン**: 書き込むファイルを指定します。
- ⑪ **設定ソフトの終了ボタン**: プログラムを終了させます。
- ⑫ **全項目一括の有効/無効チェックボックス**: 全項目の一括選択/解除時に使用します。

## 5 改訂履歴

Rev.	改訂年月日	改訂内容
1.0	2020/07/30	初版発行
1.1	2020/08/05	使用上の注意追記